

宮城県におけるがん登録の実務者育成(第2報)

がん登録実務者育成支援事業の取り組み

～初年度の結果と今後の課題～

P-D-50

佐藤真弓*¹ 金村政輝*^{1 2} 新田彩子*¹
 1院内がん登録室 2がん疫学・予防研究部

【目的】
 院内がん登録を実施している施設においては、実務の継続性及び登録データの質を担保していくためにがん登録実務者の育成が課題とされている。当院は国が指定する都道府県がん診療連携拠点病院であり、その指定要件にも「都道府県内の院内がん登録に関する情報の収集及び、院内がん登録の実務者の育成等を支援することが望ましい」とされていることから本事業を立ち上げ実施した。

【方法】
 「宮城県立がんセンターがん登録実務者育成支援事業実施要綱」に則ってオンジョブトレーニングの方法で実施した。今回の申し込みが初級研修希望であったため、国立がん研究センターの「院内がん登録実務者初級認定試験」のテキストを使用して講義と演習を組み合わせ、主にがん登録項目の定義と5大がんの病期分類について研修を行った。また、がん登録業務を行ってもらいながら、電子カルテの情報の取り方等を学んでもらった。

【宮城県立がんセンターがん登録実務者育成支援事業実施要綱(抜粋)】

- 事業は**長期研修**(2週間以上3か月以内)、**短期研修**(2週間未満)、**相談支援**(研修修了者の相談対応)、**実習生受け入れ**(診療 情報管理士の資格を得るための認定試験について指定を受けた大学及び専門学校生等)の4パターンとする。
- 指導責任者はがん登録室長とし、実際の指導はがん登録室副室長またはこれに準ずる職員とする。
- 修了者には修了証書を交付するとともに、別紙修了者名簿に記録し保存する。
- 費用については受講者から実費相当額の負担を求めることができるものとする。(受講者1人につき1日当たり2,000円)

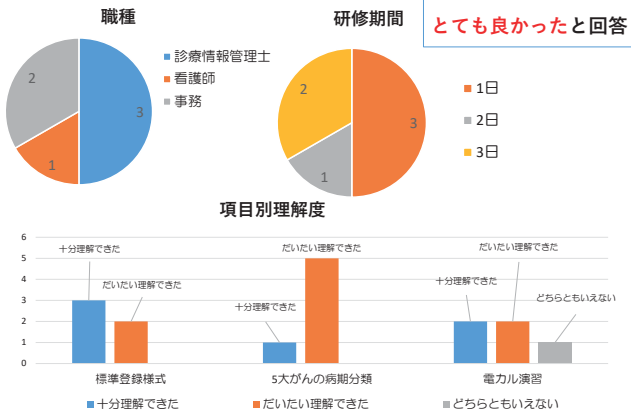
【受講者一覧】

No	施設名	性別	職名	登録形態	研修期間
1	仙台循環器病センター	女性	事務員	全国がん	2018/6/19
2	国保川崎病院	女性	看護師(看護師長)	全国がん	2018/6/26~27
3	西多賀病院	女性	診療情報管理士	全国がん	2018/8/2
4	栗駒病院	男性	市職員(医事課係長)	全国がん	2018/8/6~7、9
5	坪井病院	男性	調査統計部主任 診療情報管理士 医療情報技師	院内がん	2018/8/20~22 (初級認定試験対策)
6	公立黒川病院	女性	医事課課長補佐 診療情報管理士	全国がん	2018/8/28

* 6病院、6名に対するべ11日間の研修を行った。
 * 5病院は全国がん登録を行っている施設であった。
 * 1病院は県外の施設で、初級認定試験対策の研修であった。
 * 登録上の疑問や質問を持参していただき、研修の中で回答する形をとった。

【受講者からの感想】

*** アンケート結果 ***



全体の評価は、すべての受講者が**とても良かった**と回答

貴施設が頼れる病院として期待通りであること、うれしく思いました。

届出する前に目を通していただける仕組み、さらに「がん」を教えていただけたことがよかった。

全体を通してとてもわかりやすく、研修を受けてよかった。

【今後の課題】

研修用端末の確保

5大がん以外のテキストの確保

事業の継続性